

ついに、プラスチックを使用しないブリスターパックが登場

世界で最も広範に使われている包装形態であるブリスターパックが、100%ペーパーボードで製造できるようになりました。二つの大きな利点により、環境汚染が低減されると共に、消費者からの開けづらさからくるイライラや怪我のリスクが緩和されます。ブリスターパックは小売店舗でホルダーに吊るすように作られ、多くの場合、裏はペーパーボードで、表は消費者に商品を見せるよう、型に合わせたプラスチックでできています。ノルウェーのコンバーターであるMoltzau社が巧みにデザインしたCefapacは、環境上の性能と開けやすさの両面から改善を加え、すでにいくつかの賞を授与されています。

「当社の開発への取り組みは、環境への配慮と開けやすさという2つの目標を掲げてスタートしました」と、Moltzau社のパッケージ研究開発担当のベテランEirik Faukland（エリック・フォークランド）は述べています。「プラスチック製のブリスターパックを開けるのは非常に難しいという周知の問題を回避するうえで、基本となるコンセプトはプラスチックをペーパーボードに替えることです。Cefapacソリューションがユニークな点は、従来使われてきた折り目をすべてミシン目に替えたことです。こうすることで、簡単に開けられるようになります。」

しかし、折り目の代わりにミシン目になると、パックの中身を十分に保護できないというリスクが生じます。そのため、どのようなペーパーボードを使うかが重要になります。

Faukland（フォークランド）は「良質のパックを作るためには、Invercote（インバーコート）がもつ優れた強度が欠かせません。強度と、成形と充填の様々な段階で、どのような性能を示すかが重要なのです」と言っています。さらに彼は、Moltzau社がこれまで製造してきたパックのもうひとつの利点として、折り目のあるパッケージング用の紙を使う場合と比べて、ミシン目の場合は顧客の作業過程で充填プロセスが加速されると指摘しています。

世界有数のスキー用ワックスのメーカーであるSwixは、現在一部のワックスを対象にCefapacを使っており、今後その試用対象を広げていく予定です。すでに市場に出回っているCefapacに入った製品としては、傷の手当用の包帯や市販薬などがあります。Cefapacは、2015年秋に包装を対象とするスカンジナビアの賞「Scanstar」を受賞したほか、2017年には世界パッケージング機構から「WorldStar」を授与されることになっています。

さらにパック・デザイナーであるEirik Faukland（エリック・フォークランド）は、リウマチ患者を代表するスウェーデンとノルウェーのリウマチ協会から、暖かい賛辞を受けました。これらの協会はパッケージング業界に対し、より開けやすい形態を開発するよう積極的に働きかけています。

キャプション: グローバルリーダーSwixの、プラスチックを使わず開けやすいスキー用ワックス。化石ベースのパッケージングから、化石を使わない再生可能な原料への移行を目指すデオドラントやスキンケア製品のメーカーも、このパックに製品を入れることができます。